

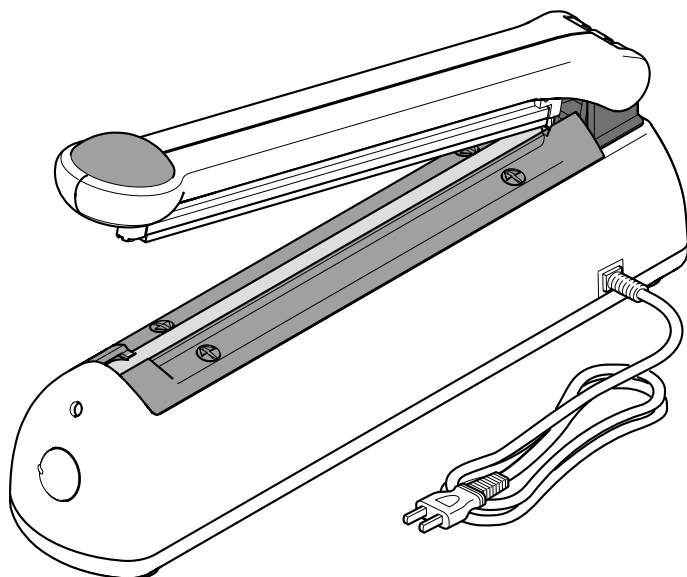
2022年3月発行
第3改版 3.05J

メディカルシーラー

UP-200

取扱説明書

商品コード
014100C



 富士インパルス株式会社

<http://www.fujiimpulse.co.jp>

はじめに

このたびは、富士インパルスシーラー UP-200 をご購入いただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、内容を理解された上で製品を正しくお使いいただきますようお願いいたします。十分に理解されるまで、作業は行わないでください。

この取扱説明書はいつでもご使用いただけるようにお手元に置いて大切に保管してください。

UP-200 はフィルムの材質に合わせて加熱時間を設定し、ピッとというシール終了の合図音が鳴ってからレバーを上げるとフィルムが焼けたり溶けたりすることなく美しい丈夫なシールができていきます。

UP-200 の設計内容に関する研究改良の結果、この取扱説明書の内容に、お買い上げ製品と詳細において異なる場合があります。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてのご質問がございましたら、下記までご遠慮なくお問い合わせください。

富士インパルス販売株式会社

本 社 千葉県流山市南流山 2-27-6

TEL 04-7178-6402

大阪支店 大阪府豊中市庄内栄町 4-23-18

TEL 06-6335-1234

本書の表示について

本書では人体や製品に損傷を与える危険性のあることや製品を正しく動作させたり、便利にお使いいただけることを述べた説明文に対して以下のマークで表示しています。



もし遵守しなかった場合、軽傷や物的被害が生じる可能性のあるもの。



もし遵守しなかった場合、死亡や重傷となる可能性のあるもの。



もし遵守しなかった場合、ほぼ確実に死亡や重傷となる可能性のあるもの。

注!

製品を正しく動作させるための注意や制限事項を表しています。誤った操作をしないため、必ずお読みください。

MEMO

製品を使用する時に知っておくと便利なことや参考になることを表しています。お読みいただくことをお勧めします。

目次

1	仕様	5
2	梱包内容	5
3	消耗部品の販売と補修部品セット	6
4	正しい使用範囲	6
5	警告・注意ラベルの貼り付け位置と内容説明	7
6	使用上の注意	8
	6-1 安全にお使いいただくために	8
	6-2 快適にお使いいただくために	10
	6-3 その他の注意	10
7	各部の名称	11
8	正しい使い方	12
	8-1 本体の設置	12
	8-2 電源コードの接続	12
	8-3 タイマーでシール条件を設定する	13
	8-4 袋をセットし、シールする	14
	8-5 冷却時間をとる	15
	8-6 シールのできあがり	15
	8-7 作業終了後の点検	16
9	消耗部品の交換方法	17
	9-1 下側ガラステープ、シリコンシートの交換	18
	9-2 上側ガラステープ、ヒーターの交換	19
	9-3 シリコンゴムの交換	21
10	主な故障状況と対処方法	22
11	電気回路図	24
	分解図・部品表	25

1 仕様

商品コード	製品名	電圧 V	電力 W	シール幅 mm	シール長 mm	質量 kg	プラグ 形状	機械寸法 mm 幅×長さ×高さ
014100C	UP-200	100	260	3 ※	200	2.2	㊦	72 × 310 × 180

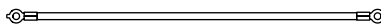
※ 組紐ヒーターはその特性上、ヒーター幅が一定ではなく、シール幅が製品ごと、ヒーターごとに異なる場合があります。

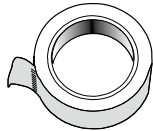
2 梱包内容

梱包を解かれましたら下記の梱包内容が入っているかご確認ください。
もし入っていない場合は、お買い上げの販売店または弊社までその旨をお伝えください。

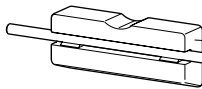
1 製品本体・・・1台

2 附属部品セット

 組紐ヒーター・・・2本



ガラステープ (19mm 幅×5m 巻)・・・1巻



ヒーター交換治具セット・・・1セット

電極起こし台・・・1個

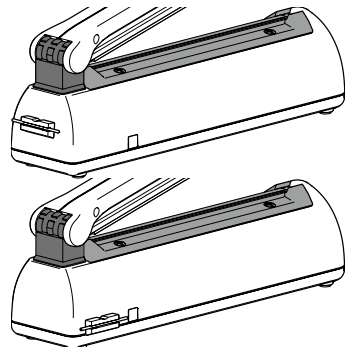
電極起こし棒・・・1本

各部品のイラストは等比率で描いておりませんのでご注意ください。

3 その他

取扱説明書、検査合格票、愛用者カード

MEMO ヒーター交換治具セットは板磁石により本体フレームの好きな場所に取り付けることができます。
ヒーター交換治具セットには板磁石があらかじめ付いていますので、本体フレームの好きな場所に板磁石の剥離紙を剥がして貼り付けてお使いください。



3 消耗部品の販売と補修部品セット

消耗部品は個々に販売していますが、(表: 単独販売単位欄) それぞれを少量単位でセットした補修部品セット(表右欄)を購入されるとお得で便利です。

部品をお買い求めの際は、お買い上げの販売店へご注文ください。お買い上げの販売店が不明の場合は弊社までご連絡ください。販売店のご紹介をさせていただきます。

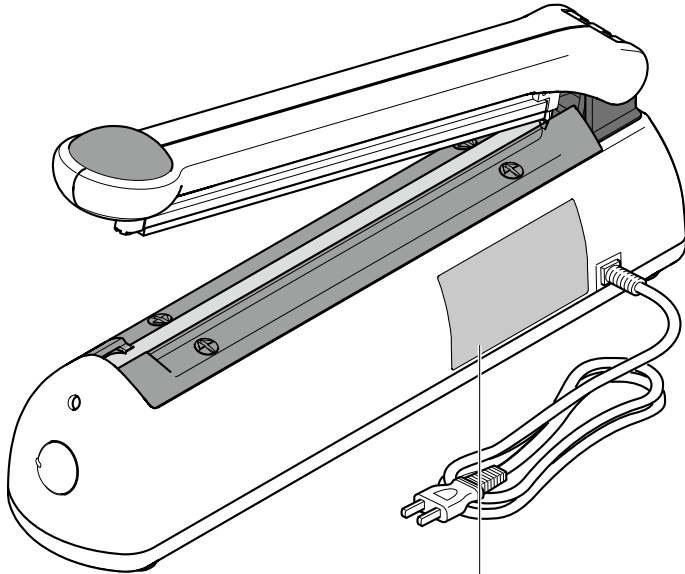
消耗部品	単独での販売単位	補修部品セットでの明細
組紐ヒーター	5 本	2 本
ガラステープ	19mm 幅× 5m 巻または 10m 巻 1 巻	19mm 幅× 5m 巻 1 巻
シリコンゴム	1 本	1 本
シリコンシート	2 枚	1 枚



4 正しい使用範囲

- 1 富士インパルスシーラーとは、袋やフィルム(熱接着対象物)を圧着レバー、シール受け等で挟み込み加圧した後、ヒーターへ大電流(仕様表記載の消費電力相当)を短時間流し、発熱させ、熱伝導により袋やフィルムを加熱、溶融し、加熱終了後、圧着部より放熱・冷却させ、封緘部をシールする装置のことを言います。
- 2 UP-200 のシール可能な包材の厚さは 2 枚合わせて 0.2mm 以下です。それ以上の厚さを持つ袋のシールはできません。無理に範囲外のシールを行うと製品を損傷させる可能性が高くなります。

5 警告・注意ラベルの貼り付け位置と内容説明

人体や製品に損傷を与える危険性のある場所に警告・注意ラベルを貼り付けて表示しています。具体的な貼り付け位置は下記の通りです。



 感電警告	 高温注意
<p>感電の恐れあり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カバーを開けてのメンテナンス時、必ずコンセントから、電源プラグを抜いてください。 	<p>火傷の恐れあり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間連続して使用するとシール部が高温になりますので、注意してください。
W2080	

本体側面に上記の警告ラベルが貼り付けています。



警告ラベルがはがれたり、紛失されたりした場合は、該当のラベルをご購入の上、上記位置に必ず貼り付けていただきますようお願いいたします。

6 使用上の注意

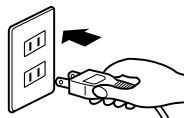
6-1 安全にお使いいただくために

⚠ 警告 非常の際は、電源コードを抜いてください

UP-200 は、いくつかの安全装置を装備し、火災などが発生しないような設計を考慮していますがその全てが同時期に破損してしまった場合、加熱回路が遮断されずにヒーターの過熱によりガラストープが燃える危険性があります。ガラストープ部から煙や炎が発生した場合は、速やかに圧着レバーを押さえるのをやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 警告 電源は適正配線されたコンセントからお取りください

使用されるコンセントが取扱説明書の“仕様”に掲載している電圧・電力がとれること、またプラグ形状と一致していることを確かめてからご使用ください。タコ足配線や、延長コード（コードリール）で使用されますと製品が正しく動かなくなるばかりか火災の危険性もありますので絶対にしないでください。規定電圧以外の電源に接続すると製品が故障します。また、電源プラグをしっかり根元まで差し込んでからお使いください。



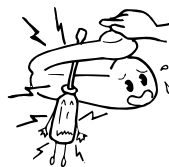
⚠ 警告 水物の包装には使用しないでください

UP-200 は防水対策を施しておりませんので、製品本体に水をかけたり、水物（汁物）の包装には絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となりたいへん危険です。



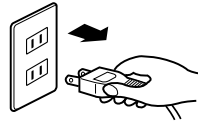
⚠ 警告 シール部に金属製の物を差し込まないでください

金属製の物を手で持ったままシール部に差し込み製品を作動させシール行程に入ると感電する危険性があります。



⚠ 警告 部品交換の時は電源プラグを抜いてください

消耗部品の交換は、日々のメンテナンスで必要となります。交換方法をこの取扱説明書に掲載していますが、間違った方法で行うとたいへん危険です。作業の前には必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、消耗部品の交換方法の手順で行ってください。

**⚠ 警告** 改造はしないでください

UP-200をお客様で改造されたり、規定外の部品を装着されますと故障などの原因になるばかりかたいへん危険です。その場合に発生した機械の不調・故障及び事故などに対して弊社は保証の責任を負いかねます。

**⚠ 警告** 弊社指定の純正部品以外は使用しないでください

部品交換をされる時は、必ず弊社が販売している指定の純正部品をお使いください。

⚠ 警告 このような場所では使用しないでください

製品が故障する危険性がありますので、製品を下記のような環境では使用しないでください。

- 1 粉塵の充満している場所
- 2 薬品を使用している場所
- 3 常温ではない場所
- 4 湿度が高い場所

**⚠ 注意** シール部に手をいれないでください

シール部は長時間使用されますと熱がこもって熱くなり火傷をする危険性があります。

**⚠ 注意** 正しくお使いください

「8 正しい使い方」(→ P.12)をよくお読みいただき、ご使用ください。それ以外の方法でご使用になると故障の原因となり、たいへん危険です。

6-2 快適にお使いいただくために

● **加熱時間はシールができる最短の時間に設定してください**
良好なシールができる最短の加熱時間に設定してください。不必要に加熱時間を長くすると（加熱目盛を上げると）ガラステープなどの部品を傷め、ヒーター切れの発生につながります。また、電力浪費につながります。

● **シール終了は、青ランプの消灯またはブザー音の後でレバーを上げてください**

UP-200 は、加熱後、フィルムを挟み込んだままフィルムを固める冷却時間が必要です。冷却時間が終了すると冷却ランプ（青）が消灯すると同時にシールの終了合図音（ピツという音）が鳴ります。冷却ランプ（青）が消灯またはピツという音がしてからレバーを上げてください。冷却ランプ（青）が消灯またはシール終了音が鳴る前にレバーを上げるとフィルムがちぢれたり、切れたりします。

● **消耗部品は定期的に交換してください**

ガラステープ、シリコンゴムは使用されるうちに破損し、美しく丈夫なシールができなくなります。部品交換の方法をよくお読みいただき、危険のない様に交換を行ってください。

● **長時間使用の場合は加熱時間に注意してください**

長時間連続使用されますとシール部の温度が上昇し、シール条件が変わりますので、加熱時間を短かめに調整をやり直してお使いください。

● **使用後は必ずきれいに掃除してください**

ガラステープ部にゴミ、ホコリが付いていますと、きれいにシールができないばかりか、ヒーターなどの消耗部品を傷めます。使用後は必ずきれいに手入れ・掃除を行ってください。

6-3 その他の注意

● **量産前には十分なシールテストを行ってください**

フィルムの種類により必要な加熱、冷却が変わってきますので、はじめにテストを行い最適な条件を見つけ出してからご使用ください。特に密封性を高くする場合は、十分にシールテストを行ってください。

● UP-200 はインパルス方式のシーラーです

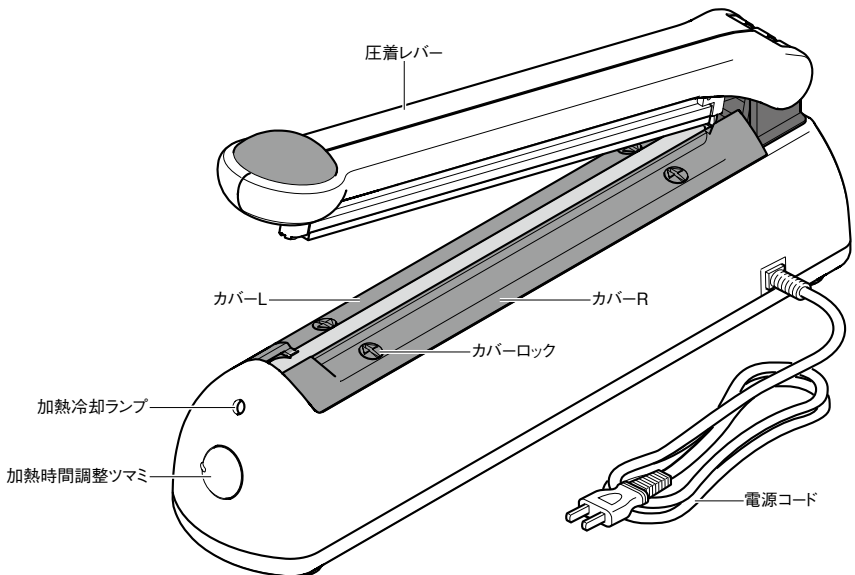
電源プラグをコンセントに差し込んで時間が経過してもシール部が熱くならないのは故障ではありません。

UP-200 はインパルス方式のヒートシーラーですので電源プラグをコンセントに差し込んだだけではシール部は熱くなりません。加熱工程の時だけ(レバーを押し下げてマイクロスイッチが ON になった時だけ)瞬間的に通電し加熱されるからです。但し、長時間の連続使用で、シール部が蓄熱して熱くなる場合があります。

● 異常加熱に対する安全装置

加熱タイマーの故障で異常加熱(連続通電)状態になっても約3秒で回路を遮断する装置が組み込まれています。異常を感じたら「10 主な故障状況と対処方法」(→ P.22)に記載されている修理・処置方法を参照して、修理を依頼してください。

7 各部の名称

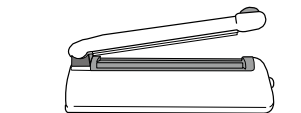


8 正しい使い方

製品を使用される時は以下の『正しい使い方』をよくお読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

8-1 本体の設置

製品本体を水平な面を持つ適切な作業台の上
に設置してください。

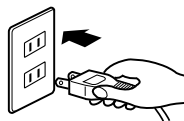


△注意 電源コードに衝撃がかからない場所に設置してください。UP-200 は軽量ですので、コードに足などが引っかかると、製品ごと落下する恐れがあります。



8-2 電源コードの接続

電源コードの差し込みプラグを「1 仕様」
(→ P.5) に記載している電圧・電力が確保
できるコンセントに確実に根元まで差し込ん
でください。



△警告 規定の容量に合わない場合、火災など
の危険があります。

8-3 タイマーでシール条件を設定する

タイマーで加熱時間を設定します。袋（フィルム）の材質、厚さなどにより設定値は変わりますので、フィルムを変えられた時はその都度、設定してください。

■ 加熱時間の設定

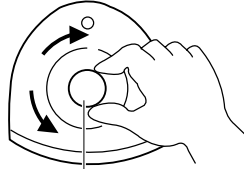
加熱時間調整ツマミを回して設定します。目盛を大きくすると加熱時間が長くなります。

（約 0.1 ～ 2.1 秒の範囲）

使用されるフィルム（袋）の材質により加熱時間は異なります。

目盛りの小さい方からシール状態を確認して、シールができる最小の目盛りに設定してください。作業速度が上がります、部品の無駄な消耗を抑えます。

⚠ 警告 加熱目盛を大きくして“正しい使い方”の「8-5 冷却時間をとる」で説明する冷却時間をとらないで連続使用すると、火災などの危険があります。



加熱時間調整ツマミ

8-4 袋をセットし、シールする

シール部に袋をのせ、圧着レバーを押し下げます。押し下げている途中でマイクロスイッチが ON になり、加熱冷却ランプが赤色に点灯します。

【圧着レバーを押し下げるときの注意点】

圧着レバーを押し下げると、マイクロスイッチが ON になりカチッと音がします。マイクロスイッチが ON になる位置よりもさらに下のレバーが止まる位置まで少し強く押し下げてください。

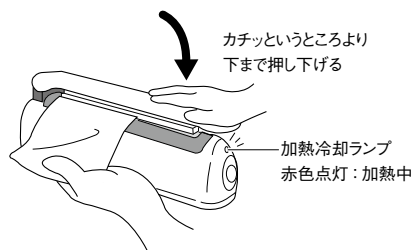
注！ マイクロスイッチが ON になる位置でレバーを止めた場合、手前側（加熱ランプ側）の圧力が弱くなるためシールがきちんと出来なかったり、シール強度が弱くなったりする場合があります。

注！ レバーが止まる位置よりも無理やり強く押し下げると、圧着レバーの耐久性が落ち故障の原因となります。無理に強く押し込んでも滅菌バッグのシール強度は上がりません。

△注意 ヒーター部に内容物がこないように袋をセットしてください。圧着レバーで内容物を挟んでしまった場合、ヒーター等が破損してしまう恐れがあります。

注！ 滅菌バッグをシールする場合、フィルム側を上にしてください。

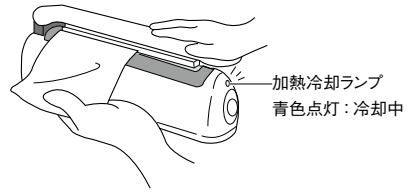
注！ この時、袋がピンと張られた状態でないとシール線の上にシワができますので注意してください。



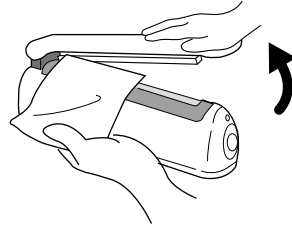
8-5 冷却時間をとる

加熱が終了すると加熱冷却ランプが青い色に点灯します。

MEMO 青色の点灯時間(冷却時間)は、設定した加熱時間の2倍の時間になります。



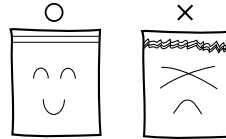
加熱冷却ランプの青色が消灯し、ピッとブザーが鳴ると冷却終了です。圧着レバーを上げてください。



8-6 シールのできあがり

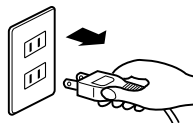
加熱・冷却終了後、圧着レバーを上げれば、シール完了です。うまくシールができていない場合は再度、加熱の設定や圧着レバーを押さえる力を調整してください。

MEMO UP-200の加圧力は、手で圧着レバーを押さえる力の強弱で調整します。



8-7 作業終了後の点検

作業を終了する時や長時間使用されない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。作業が終了したら、ヒーターや、ガラステープなどの消耗部品に汚れや破損がないか点検してください。






汚れがある場合は清掃を行ってください。

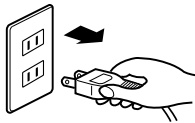
破損がある場合は、取扱説明書に記載されている「9 消耗部品の交換方法」(→ P.17)をよくお読みいただき、部品の交換を行ってください。

9 消耗部品の交換方法


日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。

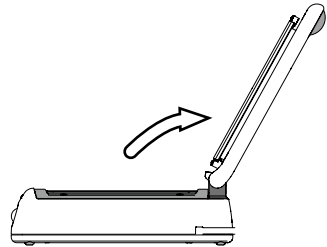
以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

-  **警告** 消耗部品の交換やメンテナンスの時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、作業を行ってください。プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。
-  **警告** 取扱説明書に記載されている以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります。
-  **警告** 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。



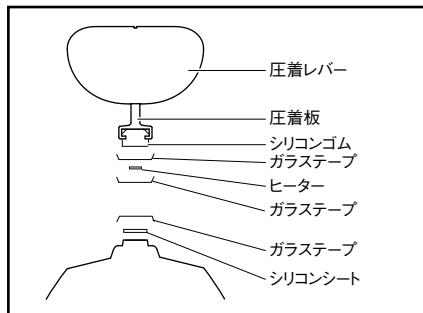
必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で作業を行ってください。

-  **MEMO** 部品交換をする時は、圧着レバーを上を持ち上げると作業が行いやすくなります。右イラストのようにレバーを上持ち上げてください。



シール部の構造

シール部は下図の部品から構成されていますので、部品交換の時は順番を間違えないように取り付けてください。



9-2 上側ガラステープ、ヒーターの交換

【必要物】 プラスドライバー、はさみ

【交換の目安】 ヒーターが切れた、シールが汚い等

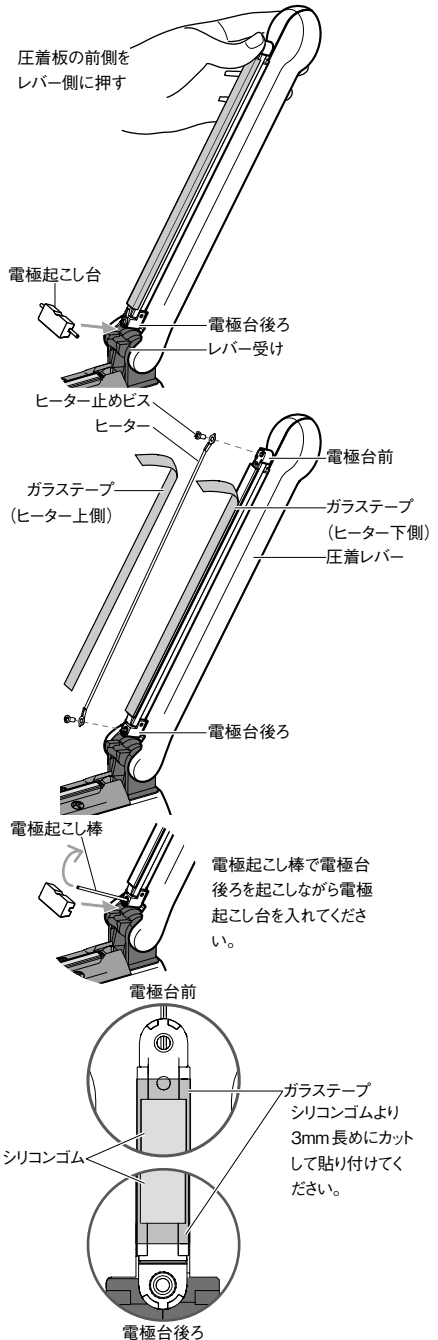
ガラステープ、ヒーターは単品販売、補修部品セット販売しています。

- 1 圧着板の前側をレバー側に押しなが
ら、電極起し台を電極台後ろとレバー受
けの間に入れてください。
- 2 ヒーター上側の傷んだガラステープをき
れいにはがしてください。
- 3 ヒーター止めビスをプラスドライバーで取
り外し、ヒーターを取り外してください。

注! 電極起し台を入れる前にヒーターを取
り外してしまった場合、右イラストのように
電極起し棒を使って電極起し台を入
れてください。

- 4 ヒーター下側の傷んだガラステープをき
れいにはがしてください。
- 5 ヒーター下側のガラステープを貼り付
けてください。シリコンゴムより両側とも
3mm ずつ長めにカットし、貼り付けてく
ださい。

注意 ガラステープを貼る時にシリコン
ゴムと電極台との間に隙間が出
来ないように注意して貼り付けて
ください。



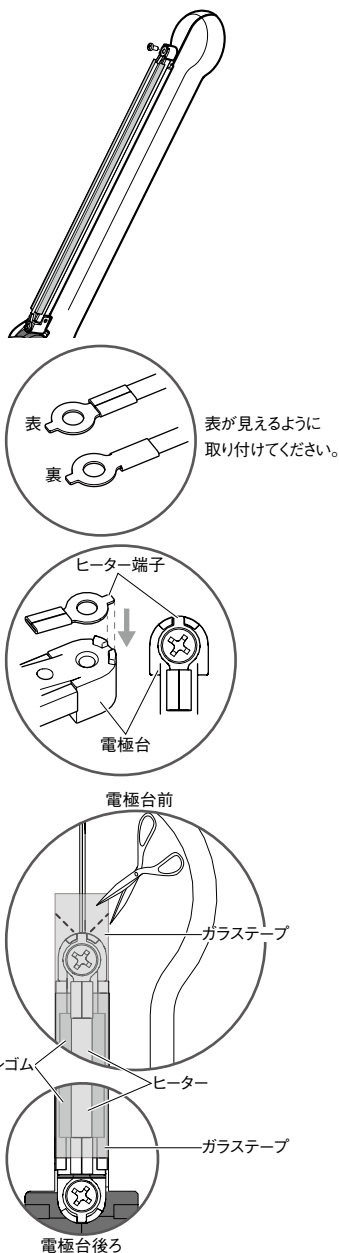
- 6 ヒーターを取り付けます。ヒーター端子を電極台の一方にヒーター止めビスで固定し、次にもう片一方のヒーター端子を少し引っ張りながら、電極台のもう片一方にヒーター止めビスで固定してください。ヒーター止めビスを電極台からヒーターが浮かないよう確実に固定してください。
- 7 電極起こし台を取り外してください。

注意 右イラストを参考に、ヒーターの表裏に注意して正しく取り付けてください。ヒーターの表裏を間違えるとガラステープを傷めます。またヒーター端子と電極台の接触不良の原因となります。

注意 ヒーター端子を電極台の溝に合わせて固定してください。ヒーター端子がずれるとヒーターがまっすぐ取り付けられません。

- 8 ヒーター上側のガラステープをヒーターが中央になるように貼り付けてください。電極台前側のガラステープにはさみで右イラストのように切り込みを入れて、電極台前に沿って下側へ折り曲げて貼り付けてください。
電極台後ろ側はシリコンゴムより3mm長めにカットし、貼り付けてください。

注! 古いガラステープの粘着のりが残っている上に新しいガラステープを貼るとシールに悪影響が起こります。よく粘着のりを落としてから新しいものを貼り付けてください。



9-3 シリコンゴムの交換

【必要物】 マイナスドライバー

【交換の目安】 シールが汚い等

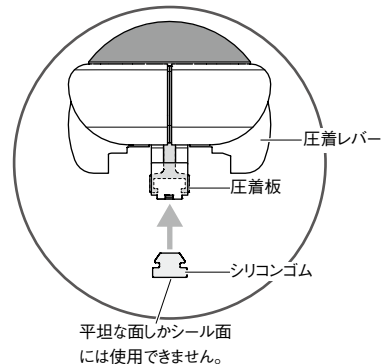
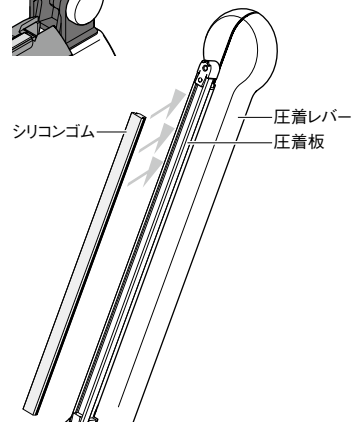
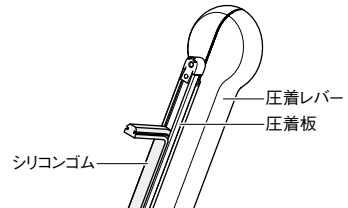
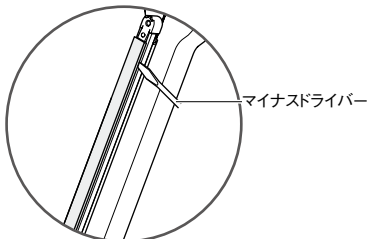
シリコンゴムは単品販売、補修部品セットで販売しています。

- 1 「9-2 上側ガラステープ、ヒーターの交換」(→ P.19)を参照して、ガラステープ、ヒーターを取り外してください。
- 2 圧着板から傷んだシリコンゴムを取り外してください。
- 3 圧着板に新しいシリコンゴムを取り付けます。圧着板のレールに沿って端から順にシリコンゴムを押し込んでください。
- 4 ガラステープ、ヒーターを取り付けてください。

注意 シリコンゴムと電極台との間に隙間が出来ないように注意して取り付けてください。

注意 シリコンゴムの向きに注意して取り付けてください。シール面には平坦な面しか使用できません。

MEMO シリコンゴムが圧着板から取り外しにくい場合は、下イラストのようにマイナスドライバーを使用すると取り外しやすくなります。



10 主な故障状況と対処方法

本機が正常に動かない場合は、次の表をよくお読みいただき製品を確認してください。

取扱説明書に掲載している部品の交換をされる場合は、交換方法をよくお読みいただき、適切に交換作業を行ってください。以下に記載している対処方法を施しても、なお問題が解決しない場合、また、この取扱説明書に掲載していない部品の交換方法・調整方法につきましては、お買い上げの販売店または弊社技術サービスまでお問い合わせください。また、処置方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外のお客様はご面倒ですがお買い上げの販売店または弊社技術サービスまでご連絡ください。

⚠ 警告 部品交換を行う時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

故障修理についてのお問い合わせ先

富士インパルス

技術サービス(東日本)

千葉県流山市南流山 2-27-6

TEL 04-7178-6402

技術サービス(西日本)

大阪府豊中市庄内栄町 4-23-18

TEL 06-6335-1546

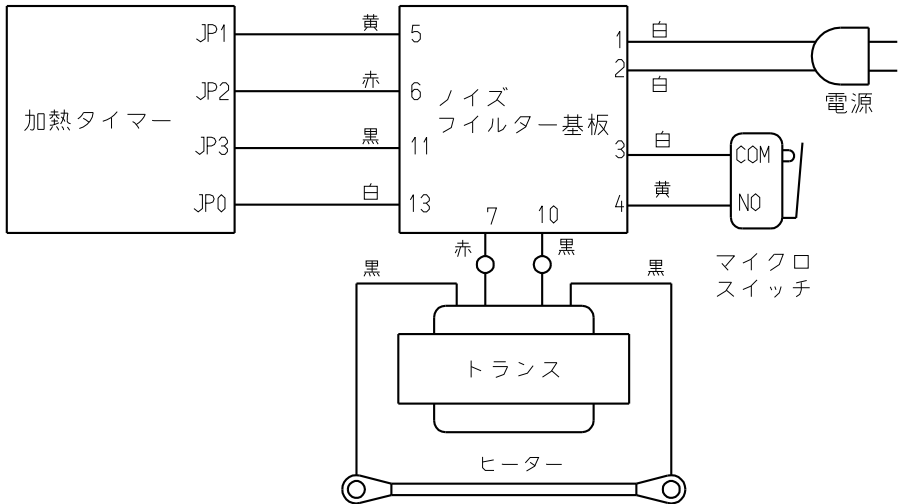
このような時は	ここを確認してください	対処方法
圧着レバーを押さえても全くシールができない	電源コンセントに電気がきていますか	作業場の電源に電気がきているか確認してください
	電源プラグは確実にコンセントに差し込まれていますか	電源プラグを確実にコンセントへ差し込んでください
	電源プラグが破損していませんか	※電源コードを交換してください
	電源コードが断線していませんか	
加熱冷却ランプは赤色に点灯しているが、ヒーターが発熱しない、シールができない	ヒーターが切れていませんか	ヒーターを交換してください
	電極とヒーターの接触が悪くなっていませんか	電極とヒーターの接触する金属部分をサンドペーパーなどで磨いてください
	—————	※タイマーの故障が考えられますので交換が必要です

処置方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外の方はご面倒でもお買い上げの販売店または弊社技術サービスまでご相談ください。

このような時は	ここを確認してください	対処方法
ヒーターが切れやすい	加熱目盛を上げすぎではありませんか	シールができる最短の加熱時間に設定してください
	加熱冷却ランプ(赤)の点灯中や、消えてすぐに圧着レバーを上げていませんか (冷却時間が短すぎませんか)	加熱冷却ランプの青色が消灯し、ピットブザーが鳴ってから圧着レバーを上げてください
	ガラステープやシリコンシートが破損していませんか	ガラステープやシリコンシートを交換してください
シールがきれいにできない	圧着レバーやフレームが熱くなっていませんか(加熱時間が変化しなくても圧着レバーやフレームの温度が上昇すると袋(フィルム)が溶け出すことがあります)	圧着レバー、フレームが冷めるのを待ち、作業間隔を長めにご使用ください
	フローガラスシート、ガラステープやシリコンシート、シリコンゴムが破損していませんか	フローガラスシート、ガラステープやシリコンシート、シリコンゴムを交換してください。
	加熱冷却ランプ(赤)の点灯中や、消えてすぐに圧着レバーを上げていませんか (冷却時間が短すぎませんか)	加熱冷却ランプの青色が消灯し、ピットブザーが鳴ってから圧着レバーを上げてください
加熱冷却ランプが青色に点灯中、もしくは消灯している時にヒーター、フローガラスシートが焼けてしまう	—————	※タイマーの故障が考えられますので交換が必要です
ブザーが鳴り続ける	シール終了後、圧着レバーを下げたままの状態になっていませんか	<p>圧着レバーを上げてください ※圧着レバーを上げて、ブザーが鳴り止まない場合は、マイクロスイッチの故障が考えられますので交換が必要です</p> <p>△警告 マイクロスイッチの故障が疑われる場合は、直ちにコンセントから電源プラグをぬいてください。 圧着レバーを下げなくても、電源プラグを差し込むだけですぐに加熱が開始し、大変危険です。</p>

このような時は	ここを確認してください	対処方法
冷却終了時にブザーが鳴らない	—————	<p>下記の動作を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 加熱時間調整ツマミを一番左（目盛り 1）まで回してください。 2 圧着レバーを止まる位置まで押し下げ、シールを行ってください。 3 加熱冷却ランプの青色が消灯してから 2 秒以内に、ツマミを目盛り 5 より右側に回してください。（この時、圧着レバーは押し下げたまま） <p>動作終了後、ピッとブザーが鳴れば完了です。 通常のシール動作を行い、冷却終了時にブザーが鳴ることを確認してください。</p>

11 電気回路図



分解図・部品表

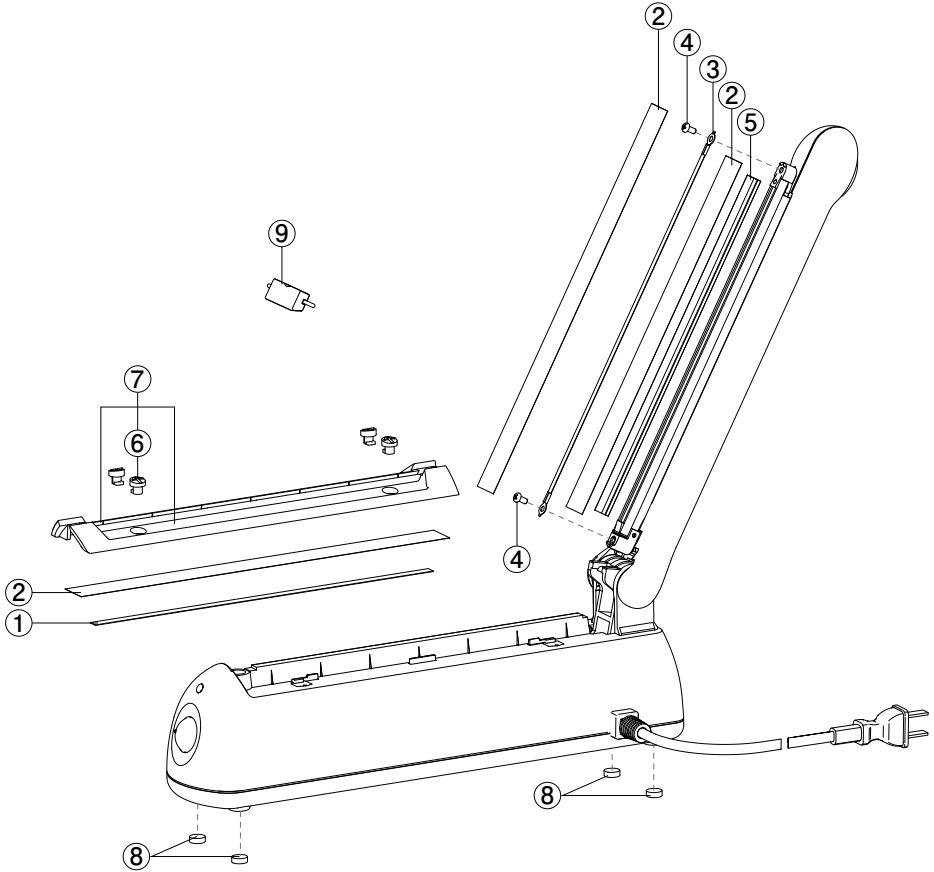
部品をご注文していただく時は、次ページからの
分解図・部品表をご覧ください、

部品名称、

部品の品番

を検索してお買い上げの販売店へお伝えくださ
い。

同時に、製品名称:UP-200と製品(商品)コード:
014100C もお伝えいただければ、より確実で
す。



●発注の際に下記表の品番と品名を明示ください。

番号	品番	部品名	販売単位
①	15005	シリコンシート 6×220	1セット2枚
②	39430	ガラステープ 19mm幅×5m巻	1巻
	39431	ガラステープ 19mm幅×10m巻	1巻
③	58018	組紐ヒーター 200-3	1セット5本
④	19300	UP-200 ヒーター止めビス	1セット2個
⑤	19301	UP-200 シリコンゴム	1本
⑥	18861	カバーロック	1セット4個
⑦	19302B	UP-200 カバーセット(ロック付)	1セット
⑧	110800	ゴム足	1セット4個
⑨	19303	UP-200 ヒーター交換治具セット	1セット

<http://www.fujiimpulse.co.jp>

Y5907 2022.3 第3 改版

UP-200 取扱説明書 Ver.3.05J